



園児らが参加した避難訓練の様子



ヘリコプターによる
つり上げ救助訓練



緊急支援物資搬送訓練



集団救急救護訓練



消火、救助訓練を見守る生徒たち



市女性防火クラブによる炊き出し訓練



倒壊家屋からの救出訓練



段ボールベッドの設置



体験・啓発ブース



災害時に役立つ新聞スリッパを作成 (坂本小学校)

市総合防災訓練を実施

保存してください。いつかまた お役に立ちます

主な訓練内容 (メイン会場)

9:30 ~ 地震発生

○学校関係者・地域住民がグラウンドへ避難

10:00 ~ 訓練開始

- 道後地区自主防災組織による初期消火や避難所運営訓練
- 防災関係機関による消火・救出・救護などの応急対策訓練やヘリコプターによるつり上げ救助訓練
- 防災関係機関によるライフライン復旧訓練や物資搬送訓練
- 防災関係機関などによる啓発コーナーでの防災啓発
- 地震体験車や煙体験ハウスなどでの体験

12:00 ~ 訓練終了

○炊き出し食(カレー)などを提供

市消防イメージキャラクター「はっぴーカバー君」



本市では、防災体制の連携強化や地域住民の防災意識の高揚を目的に、毎年総合防災訓練を実施しています。今年も、10月28日、愛媛大学教育学部附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校をメイン会場に、坂本小学校をサテライト会場に実施し、約1700人が参加しました。

メイン会場では、南海トラフを震源とする巨大地震発生を想定して、地域住民のほか幼稚園児や児童・生徒、教職員らが参加して学校避難訓練が行われました。園児らは、教室から速やかにグラウンドへ避難。道後地区自主防災組織や防災リーダーグループのメンバーらが段ボールベッドや間仕切りの設置などの避難所運営に携わりました。また、医療関係者らによる、けが人が出た際の救護訓練

4 閩危機管理課 ☎948679
FAX 9341813

「体験・啓発ブース」も設置され、参加者らは、煙や地震体験などで身を守る行動を確認していました。

サテライト会場では、大雨による土砂災害を想定し、地域住民参加のもと土砂で埋まった建物からの救出訓練などが行われました。

皆さんのお住まいの地域でも防災訓練が行われています。いつ起こるか分からない災害へ備えるためにも、積極的な参加をお願いします。

なお、7月豪雨に伴い7月6日18時30分から設置していた市災害対策本部は10月31日で閉じましたが、今後も全庁一丸となって復旧・復興に全力で取り組んで参ります。

や、防災関係機関による電気や水道、ガスなどの応急復旧訓練などが行われました。

さらに、メイン会場には

主な内容

- 人権特集 7面
- 子規顕彰全国俳句・短歌大会入賞作品紹介 8面
- 私たちのふるさと松山学 6面
- 成人式のお知らせ 5面
- 市民ガイド 9~11面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日発行
☎948-6705 ☎934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/



早坂さんの代表句

代表作「花へんろ」をはじめ、生まれ育った北条地区をたびたび作品に取り上げるなど、本市の全国への周知に尽力され、今年2月に「松山市栄誉賞」が授与された故早坂暁氏の功績をたたえ、10月28日、北条鹿島に句碑が建立され解説板が設置されました。

除幕式では、主催者を代表して北条地区まちづくり協議会の重見武海会長が「早坂さんの栄誉賞受賞は大変誇り。何かできることがないかと考え、今回の句碑建立に至った」とあいさつしました。重見会長や大町参事らによる除幕のあと、かねてから親交のあった遠藤泰夫さんが早坂さん



建立した句碑と関係者ら

は「北条自慢の文筆家」などと表現した甚句を披露。最後に早坂さんの妻・富田由起子さんが「今こそ、早坂は俳優・渥美清さんと早坂の父と3人で、この句碑建立を笑って見ていると思う」と語りました。

閩市民参画まちづくり課
☎9486963 FAX 9343157

早坂暁さんの功績をたたえ 北条鹿島に句碑を建立